

平成21年度筑紫野市補助金交付団体における男女共同参画に関する調査結果

調査の概要

【調査目的】

「筑紫野市男女共同参画推進条例」第10条に基づき、市の補助金交付団体における男女共同参画の推進状況を把握し、今後の取組の資料とするものです。

【調査対象】

筑紫野市より補助金交付を受けている団体

【調査方法】

補助金交付団体の担当課を通して調査

【調査団体及び回答数】

調査団体 36団体 回答数 35団体
回答率 97%



【実施時期】

平成21年8月～9月

【調査実施担当課】

総務部男女共同参画推進課

調査結果

1 団体の会員数及び役員数について（質問1）

男女別会員の内訳

それぞれの団体の組織規模、状況により、下表のように4つの区分に分けました。
男女別会員数が把握できている団体は35団体のうち、19団体（54.3%）でした。

分類	団体数	割合
1 男女別会員数が明確な団体	19	54.3%
2 男女別会員数が不明確な団体	12	34.3%
3 女性会員のみの団体	2	5.7%
4 男性会員のみの団体	2	5.7%
計	35	100.0%

男女別会員数が不明確な団体は、世帯単位での入会であったり、会員数が多くて男女別に数を把握していない団体があげられます。

男女別会員数及び役員数

男女別会員数が明確な団体では、会員数に占める女性の割合は41.5%ですが、役員数に占める女性の割合は35.6%となっています。

(平成20年度は、会員数に占める女性の割合は41.8%で、役員に占める女性の割合は27.3%)

分類	団体数	会員数			役員数		
		女性総数	男性総数	女性の割合	女性総数	男性総数	女性の割合
1 男女別会員数が明確な団体	19	5,029人	7,089人	41.5%	138人	250人	35.6%
2 男女別会員数が不明確な団体	12	-	31,500人		146人	193人	43.1%
3 女性会員のみの団体	2	126人	-		14人	-	-
4 男性会員のみの団体	2	-	40人		-	12人	-
計	35						

2 役職の男女別について(質問2)

会長等代表職に女性が就いている団体は10.0%(31団体中4団体)です。また、副会長及び会計職については、会長職よりは女性が就いている割合が高くはなっていますが、男女別でみるとやはり男性の比率がかなり高くなっています。

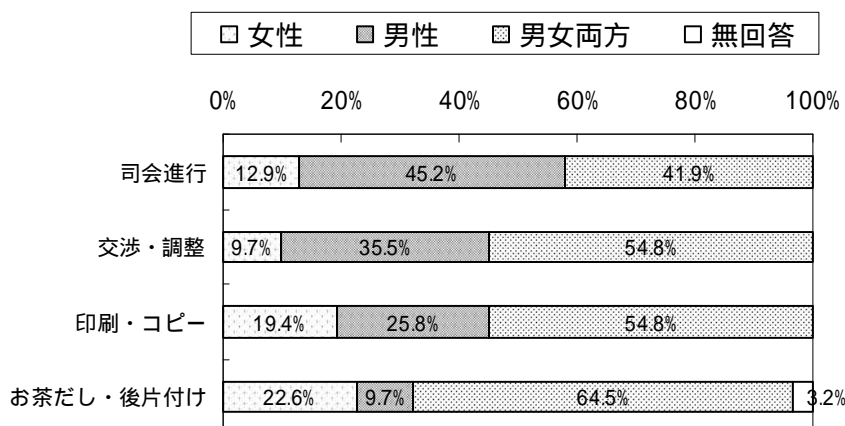
単位：団体数

	女性(のみ)	男性(のみ)	男女両方	置いていない	無回答	計
会長	4	27	0	0	0	31
副会長	5	17	7	2	0	31
会計	11	14	2	4	0	31

会員が女性のみ又は男性のみの団体(4団体)については、質問2については聞いていませんので、この集計には含まれていません。

3 団体の運営について（質問3）

質問3では、4つの仕事について、主に誰がしているかを聞いています。司会進行及び交渉・調整の仕事をする人は、男女で比較すると、男性の方がかなり高いですが、印刷・コピーの仕事では男性の割合が6.1ポイント高いくらいで、女性がする割合とあまり変わらないようです。また、お茶だし・後片付けでは男女両方であるという割合は、4つの仕事の中では最も高く身近なところから男女共同参画が進んでいるようです。

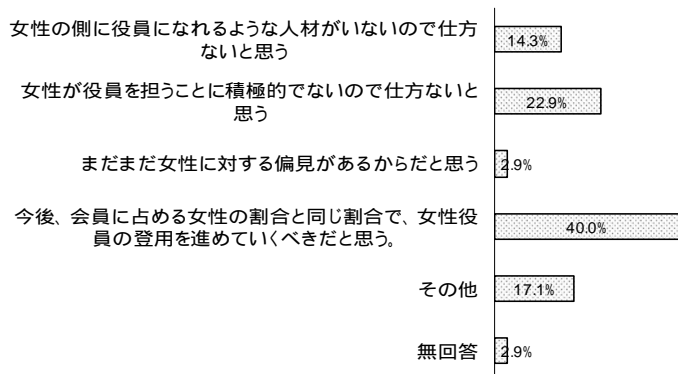


会員が女性のみ又は男性のみの団体については、質問3については聞いていません。

4 「平成20年度での女性役員の割合が27.3%である事」について（質問4）

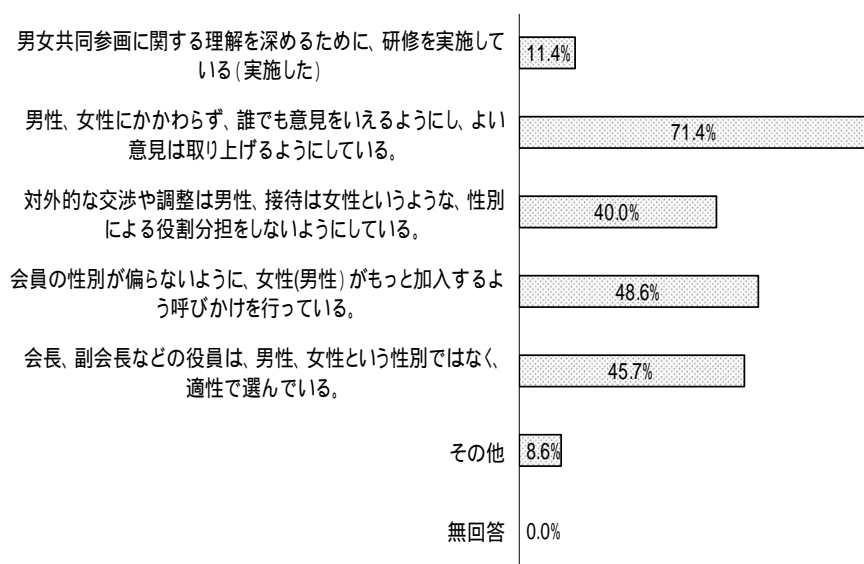
質問4では、平成20年度に実施した調査結果で、会員に占める女性の割合が41.8%であるにもかかわらず、役員に占める女性の割合が27.3%であることについて、どう思うかを聞いています。

「今後会員に占める女性の割合と同じ割合で、女性役員の登用を進めていくべきだ」と思うと考える団体が40.0%ありました。今後、市の審議会等委員の女性登用の促進につながることを期待したいです。



5 団体における男女共同参画を進めるための取組みについて（質問5）

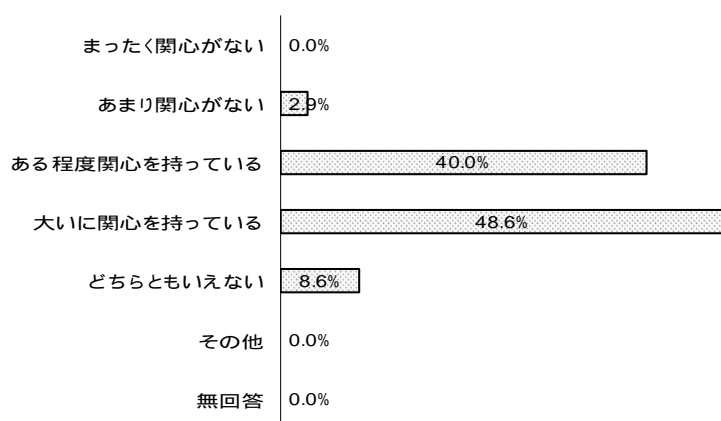
「団体の中で、男女共同参画を進めていくために、現在何か取組を進めていますか？」（複数回答）に対する回答として、最も多かったのが「男性、女性にかかわらず、誰でも意見が言えるようにし、良い意見は取り上げるようにしている」が71.4%、2番目に多かったのが「会員の性別が偏らないように、女性（男性）がもっと加入するように呼びかけを行っている」48.6%



6 第2次男女共同参画計画について（質問6）

平成20年4月に策定された「第2次男女共同参画計画」の内容について、関心があるかどうかを聞いています。ある程度関心を持っているが40.0%、大いに関心を持っているが48.6%と「第2次男女共同参画プラン」に大きい関心をもっていることがわかります。

今後、団体の方に「第2次男女共同参画プラン」の周知及び啓発についての方法について検討していきます。



男女共同参画推進課では、平成18年度から筑紫野市補助金交付団体における男女共同参画に関する調査を実施しています。男女の会員数が明確な団体についてのみ女性の割合を推移してみました。会員数に占める女性の割合があまり変わらないなかで、役員に占める女性の割合が高くなっていることは、男女共同参画社会づくりが進んでいることのあらわれでしょう。

